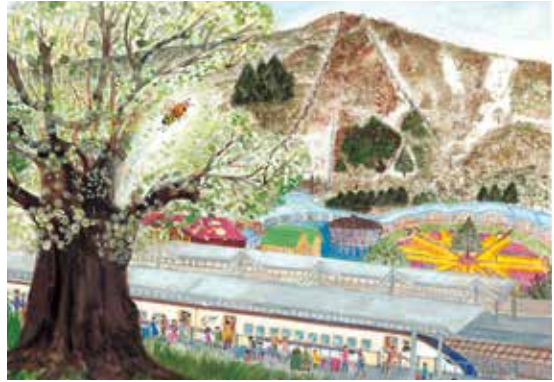


# みつばちぽりー たけした ちか



## STORY

春、山あいのホテルの庭に行くつもりだったみつばちの女の子、ぽりーは、風に運ばれて新幹線に乗ってしまいます。着いたところは東京駅。おながすすいて駅の外の花壇へ行くと、めるというみつばちの女の子に出会いました。めるは、ぽりーをビルの屋上にある庭園や町で花のあるところに案内してくれました。秋になって、ぽりーがおうちに帰りたいていると、住んでいた巣箱ごと山あいの町に帰ることができました。



### たけした ちか

55才 主婦 東京都千代田区

#### 受賞のことば

このような尊い機会をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。小さい頃からの大好きをつめこんだお話なので、喜びもひとしおです。これからも人間の文明社会の中に存在する自然に目を向けるきっかけになるような絵本を作って参りたいと思います。ありがとうございます。

#### 審査員コメント

隅から隅まで一つ一つ見ていたい絵である。決して技巧的な絵ではないけれど不思議にリアルさが伝わってくる。そして温かい。ぽりーは山間から都会へ移動。どちらの風景も繊細で優しく、ほんとに楽しい表現。帰路、朝日も印象的で実に気持ちがいい。

高島 純